

新中期経営計画の概要

2014年12月30日



Copyright By SHUEI YOBIKO Co.,Ltd.

新中期経営計画の概要

1. 本計画策定の背景と目的
2. 校舎撤退及び移転の効果
3. 基本方針
4. 重点事業戦略
5. 連結業績目標

1. 本計画策定の背景と目的

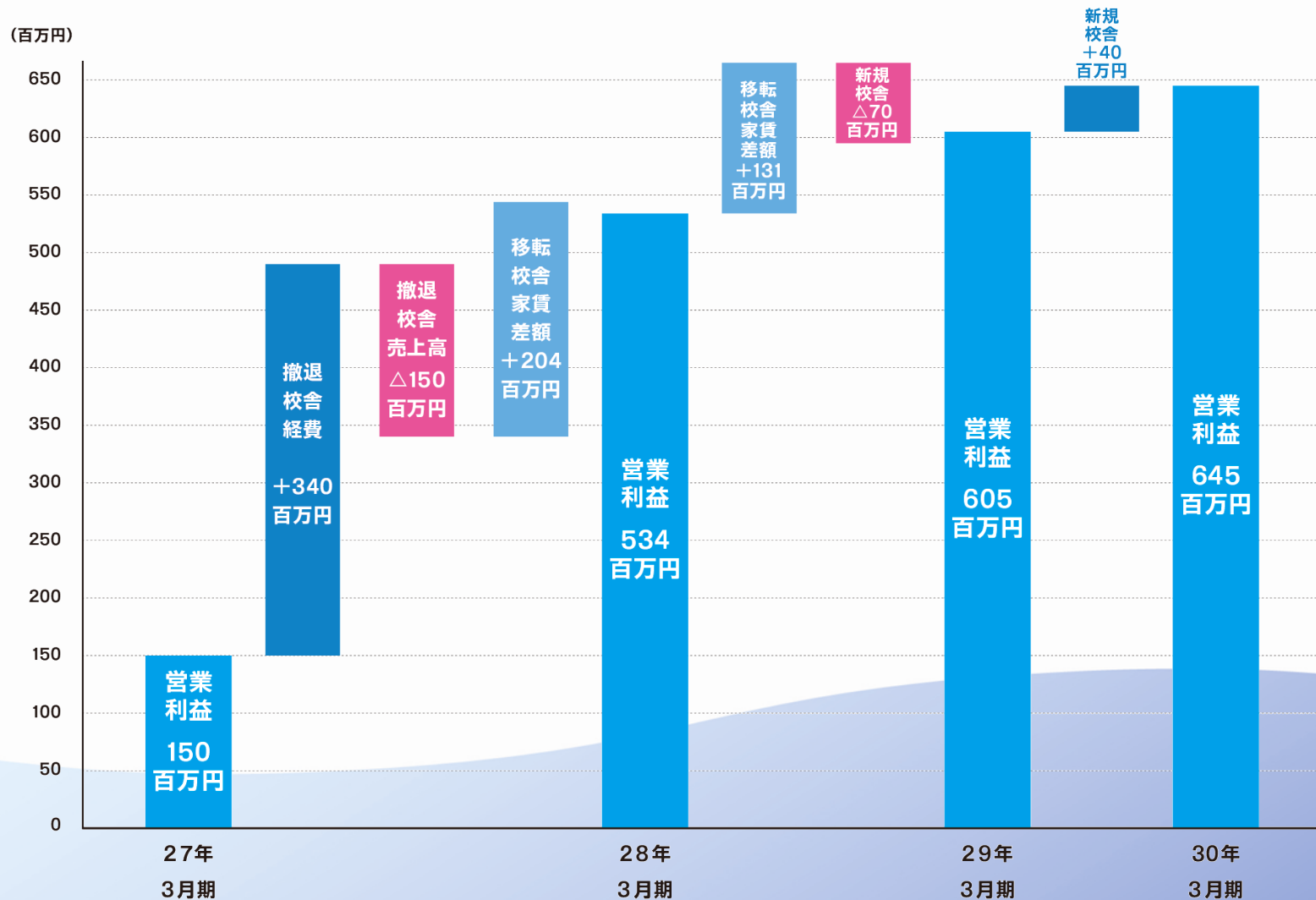
- 小中学部の生徒数の減少
- 業態変更したiD予備校運営の標準化の遅れ
- 高校部の生徒数の減少



- 校舎撤退・移転により経営資源を集中
- 個別指導校舎の展開を加速
- iD予備校運営の標準化、組織体制を強化
- 高校部門で新サービスを開始

業績を回復する新たなスタートとして
新中期経営計画を策定

2. 校舎撤退及び移転の効果



3. 基本方針

市場の構造的変化に対応した教育サービスの展開と、機動的な校舎展開で既存校舎との相乗効果をあげ、売上高及び営業利益を増加させる。

1. 集団型校舎に個別指導P A Sを展開
2. 個別指導P A Sを展開
3. 小中学部（集団）、iD予備校の機動的展開
4. 自立学習コース（高校部）の設置
5. 教育サービスの量・質の向上
6. iD予備校のF C展開

4. 重点事業戦略

個別指導校舎の展開

1. 個別指導PASを年間10～15校舎展開
2. 集団型校舎に100校舎併設

新規校舎（集団・iD予備校）の展開

1. 市場性が高く発展性のあるエリアに年間5校舎以上を展開
2. FC展開の加速

5. 連結業績目標

新中期経営計画初年度となる平成28年3月期、5億円以上の営業利益を計上し、翌期以降着実に売上高及び営業利益を増加させる。

	平成27年 3月期見込	平成28年 3月期	平成29年 3月期	平成30年 3月期
売上高	11,390百万円	11,500百万円	11,850百万円	12,300百万円
営業利益	150百万円	534百万円	605百万円	645百万円
営業利益率	1.3%	4.6%	5.1%	5.2%
生徒数(9月末)	35,676名	36,300名	37,200名	38,500名